

平成30年12月10日
国 土 交 通 省
東 北 技 術 事 務 所

応急組立橋の架設点検を実施しています
～災害時の輸送経路確保のために～

東北技術事務所では、H20岩手宮城内陸地震、H23東日本大震災等で活躍している応急組立橋について、架設点検を実施しています。

「応急組立橋」は、地震および洪水等により被災した道路や橋梁に代わり、現地で組立出来る仮設橋で、緊急車両や災害対策車等の輸送路を確保する重要な役割を担っています。(別紙-1)

架設点検は、応急組立橋の出動に備え、組立時に不具合が無いか確認のために行うものです。

また、災害対応の大切さを学んで頂くため、隣接している桜木花園幼稚園の園児(年長)に応急組立橋の見学と実際に橋を渡る体験をして頂きます。

1. 体験日時：平成30年12月13日(木) 11:30～12:00

※架設状況の公開は、12月11日(火) 13:30～14:30に実施します。

2. 場 所：東北技術事務所構内(別紙-2)

※見学を希望される方はヘルメットを準備しますので、問い合わせ先まで連絡をお願いします。

なお、雨天や強風等の影響により体験を中止することがあります。

発表記者會：宮城県政記者會、東北電力記者會、東北専門記者會

問い合わせ先

国土交通省 東北技術事務所

住 所：多賀城市桜木三丁目6-1

TEL：022-365-8158(代表)

副所長(機械) 宮本 典明

防災・技術課長 石川 功

別紙－1

1. 応急組立橋について

東日本大震災のような大規模災害が発生した場合、落橋或いは、津波による橋や道路の流出等により、交通が寸断され、被災地のライフラインが途絶えた場合において緊急の輸送路を確保するため、応急組立橋の役割は非常に大きいものがあります。

2. 災害時の架設状況（H20 岩手宮城内陸地震 岩手県奥州市胆沢区若柳地内）



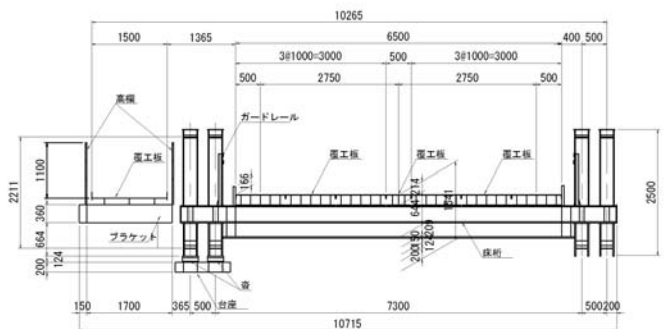
写真－①



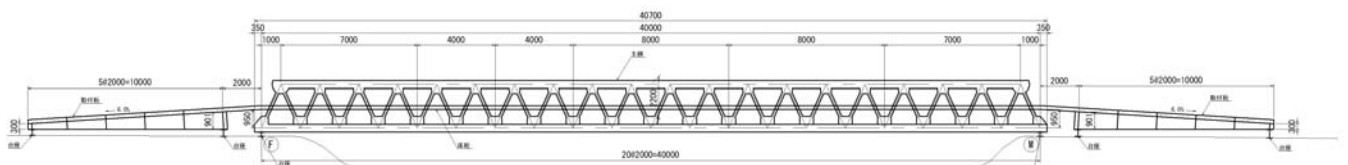
写真－②



写真－③



一般図(断面図)



一般図(側面図)

3. 応急組立橋の特徴

- ①型 式：組立式ポニーワーレントラス橋
- ②橋 長：16～40mまで4m毎
- ③幅員構成：6.5m(車道2車線)+1.5m(歩道)
- ④設計加重：B活加重
- ①導入年度：平成5年度



写真－④ 組立状況

別紙 - 2

交通アクセス

- ・ JR仙石線の多賀城駅から徒歩20分、車で10分
- ・ バスは宮城交通七ヶ浜方面乗車、桜木三丁目下車徒歩3分。

